

広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

# 天声人語がみた70年

今日を写す。時代が映る。

# クルマが変わると 未来は変わる。



1986(昭和61)年2月17日付朝刊

### 天声人語

二十一世紀のあ  
る日、どこかでた  
ぶんこんな会話が  
あるだろう。「前  
世紀の車はすさま  
じい騒音をふりま  
く化け物だったらしい」「沿  
道の人をはたらなかつたらう  
ね」「しかも排ガスをまきち  
らしてね」「信じられないな  
あ」。そのころは、車とは静  
かだ排ガスのないもの、とい  
うのが通の相場になっていた  
はずだ▼本紙「声」欄に「マ  
ラソンの報道関係の車を電気  
自動車にできないものか。排  
ガスの包囲陣は選手に迷惑」  
という投書があった。もっと  
もな意見だと思ふ▼日本電動  
車同協会の調べによると、い  
ま一般道路を走っている電気  
自動車は六百五十台だとい  
う。まだ数は少ない。この  
「静かな車」が、都市の交通  
体系の中で、もっと利用され  
るようになればと思ふ▼横浜  
市は最近、電気自動車でごみ  
を収集するテストを始めた。  
テスト車はごみ処理工場の自  
家発電を利用して、充電して  
いる▼「走る時が静かだし、  
ごみを積みこむ時もうるさい  
音がしない。排ガスもない」  
と住民には好評らしい。電気  
自動車を公害パトロールに使  
っている自治体もあるし、工  
場見学用にも利用している企  
業もある▼今はまだ欠点が多  
い。車両が高価だし、走行距  
離が短い。「排ガスをださな  
い」といっても、発電所でつく  
られた電気を使っているのだ  
から、間接的には大気を汚し  
ている「という指摘もある

▼JUNが、発電所の世話に  
ならず、太陽エネルギーを利  
用した電気自動車を愛用して  
いる人もいる。東京電機大学  
教授の藤中正治さんの愛車  
は、軽乗用車を電動式に改造  
したものだ▼自宅にとりつけ  
た畳四枚分の太陽電池を利用  
して充電する。一回の充電で  
夏なら最高百十キロは走れる。  
月平均走行距離は二百五十  
キロで「日常の用足しには十分」  
だそうだ。量産が進めば、太  
陽電池の値段ももっと安くな  
るだろう▼快適な環境を強烈  
に求める人がふえれば、あそ  
びごと、性能のよい、安い電気  
自動車の開発が進む。

わたしたちが暮らす地球の環境を脅かしているのは、  
わたしたち自身が排出した二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)。  
日産自動車はその事実から目をそらすことなく、  
CO<sub>2</sub>排出ゼロを実現する電気自動車の開発と量産に挑んできました。  
日産リーフの発売から5年、今では世界で20万台が走り、  
5000万本の植樹に相当するCO<sub>2</sub>削減効果を生み出しています。  
これからさらなる技術革新で航続距離を延ばし、インフラの整備を進め、  
電気自動車をもっと当たり前になる世の中になるように。  
達成しなければならない目標を前に、わたしたちはこんな光景を想像します。  
世界に電気自動車が増えるごとに、新しい樹々が芽を出し、葉を広げる。  
それが日産のめざす未来です。  
人と環境は、技術の力で共存できると、わたしたちは信じています。



Zero Emission  
**LEAF**

- 航続距離 **280km**  
(JC08モード・充電走行距離)
- 自動ブレーキ  
全車標準装備
- 日本全国充電スポット  
約 **17,000** 基
- LEAF to Home  
家庭用電源に活用

※1 充電走行距離(国土交通省審査値)は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)、  
整備状況(タイヤの空気圧等)に応じて値は異なります。電気自動車は、走り方や使い方、使用環境等によって航続可能距離が大きく異なります。  
※2 急速充電器6,086基と普通充電器11,260基の合計(2015年12月末現在。ゼンリン調べ)

## 日産自動車株式会社